

## 会議名

令和4年度 第2回 釧路市社会教育施設等運営審議会

## 開催日時及び場所

令和4年11月15日（火） 15時30分～16時30分  
釧路市中央図書館 7階 多目的ホール

## 主な議題

- 1 審議事項  
令和3年度釧路市図書館施設の指定管理者業務の  
外部評価について

## 結果

- 1 釧路市図書館施設指定管理者業務の外部評価の結果、適正であると評価された。

## 発言要旨

- 1 審議事項について

委員：派遣事業の1つにブックトークがあるが、毎年同じ学校の利用しかないので、校長会や教頭会でアピールする等、PRにもう少し力を入れていただけたらと思う。

事務局等：オファーがあればもちろん図書館職員を派遣するが、ご指摘の通り事業が学校等に浸透していないと感じている。近年はコロナ禍で積極的な周知を控えていた部分もあるが、今後は機会を捉え、校長会等を通じて事業のPRを行っていききたい。

委員：団体貸出で地区図書館をよく利用するが、1冊ずつ貸出・返却を行うため時間がかかる。中央図書館のように地区図書館にも一度に何冊かまとめて貸出・返却ができる機器を設置してほしい。

事務局等：評価対象外の内容となるが、要望として受けたいと思う。

委員：新しい本を購入するだけでなく、市民に協力してもらい、本を寄贈してもらうような仕組みはできないだろうか。

事務局等：人気がある本は複数冊購入しているが、予約が所蔵冊数を上回り、結果長期間利用者を待たせてしまうこともあるため、市民に寄贈を呼びかけるという取組は一部行っている。

委員：全集の寄贈を断られたことがあるが、全集のように貴重な本を持っている方はたくさんいると思うので考えてほしい。

事務局等：全集や百科事典等はすでに所蔵していることが多く、保管場所が限られていること等からも、非常に心苦しいが申し出を断る場合もあるため、ご理解を賜りたい。

委員：読まなくなった本は捨ててしまうことが多いと思う。実際そういったことも目にしている。

事務局等：寄贈を全く受け付けないというわけではない。館内には寄贈ボックスを設置しているし、カウンター等に持参いただければ、本の状態を確認した上で活用できそうな資料は受入れを行っている。今後そのような場面があれば、ぜひ図書館へご相談いただきたい。

委員：コロナ禍だからか、以前行っていた古本市を今は行っていない。

事務局等：旧図書館時代は行っていたが、古本の保管スペースの関係もあり、現在は行えていない。市民からはたくさんの本を寄贈いただいているため、今後何らかの形で市民へ還元できないか現在検討している段階である。

委員：貸出人数は戻ってきたように感じるが、利用者数が落ち込んでいるように思える。要因の分析等はしているか。

事務局等：新型コロナウイルス感染症の影響が大きいと考えている。特に中央図書館は一時閉鎖や利用人数制限等で個人学習室の利用が減ったことも大きいと思っている。

委員：令和元年度と令和3年度を比較すると3割弱ほど利用者が減少しているが、新型コロナウイルス感染症が収束したら戻りそうだという部分はあるか。

事務局等：地区図書館についてはあまり数字の変動はないが、中央図書館については個人学習室の利用者減がこの数字に繋がっていると考えている。最近はまだ感染拡大傾向にあるが、感染状況が落ち着くと学生も図書館利用を再開してくれている印象を持っている。